

相続・葬儀  
いま事情

終活

# お葬式のこと

## いまどきの 葬儀会場



10名ほどの通夜・葬儀に対応する「邸宅型葬儀ハウス」。20名～30名ほどのキャパシティの家族葬ホールが主流の現在、「さらに小規模なお葬式」を想定した施設としても注目



病院の霊安室や福祉施設などから直接、故人を搬送して安置できる安置室



祭壇は花のカラーアレンジなども含め、喪主・遺族の要望や予算に合わせて創作



葬儀ホールのすぐ横に設置された会食スペース。キッチンも備えています

故人と心ゆくまで最期のお別れができる  
それが「家族葬ハウス」最大のメリット

いまやお葬式の主流となった「家族葬」。なぜ、多くの人が「家族葬」を選択するのか？2020年7月、長野市にオープンしたばかりの「ベルハウス稲田 アスビー・ビアンカ」を取材しました。



株式会社よいけ  
ベルホール吉池  
取締役専務  
**土屋正雄**さん

お葬式の主役である故人様。故人様と御家族様が「しっかりと向き合ってお別れいただくための、時間と空間をつくること」。そのために出来ることを考え、お手伝いさせていただきます。

### Voice



2階の宿泊ルームはベッド2台を設置。バスルームを併設しています。安置から枕経、仮通夜、そして通夜、納棺、出棺、葬儀まで、場合によっては数日間、ここを自分たちの部屋のように使うことができます



長野市稲田に誕生した白亜の邸宅型葬儀ハウス。駐車場は16台まで可能

創業1925年、95年の歴史の中で累計2万5000件以上の葬儀を手掛けてきたという中野市の株式会社よいけ（ベルホール吉池）。自社としては4棟目となる「セレモニーホール」のオープンに際して、吉池邦彦社長は、次のように話してくれました。「故人様との最期の時間を、近親者だけでゆっくり静かに過ごしたいという思いを、我々もここ数年で気づかせていただきました。喪主や親族が会葬者への気遣いばかりで大切な時を忙しく過ごしてしまうよりは、故人様に感謝を伝える時間を提供したい。今までの弔いは違う、遺族が最期に心を通わせる、ご自宅同様に感じてもらえる施設でありたいと考えます」。

長野市

ベルハウス稲田  
アスビー・  
ビアンカ

〒長野市稲田1-19-1  
☎026-217-1084  
関連情報→P.88



## ベルホール吉池 中野・山ノ内 / ベルハウス アスビー リビング・ピアンカ

TEL 0120・40・3448

HP www.yoshiike-bell.com

関連情報 → P.56

### ■ベルホール吉池 中野会館

〒中野市中野1743-2 ☎0269-23-5454  
P50台 図上信越道信州中野ICから車で約12分

### ■ベルホール吉池 山ノ内会館

〒下高井郡山ノ内町夜間瀬2706-20  
☎0269-33-2323  
P70台 図上信越道信州中野ICから車で約15分

### ■ベルハウス アスビー・リビング

〒中野市西2-3-9 ☎0269-38-0807  
P7台(中野会館Pも使用可能)  
図上信越道信州中野ICから車で約12分

### ■ベルハウス稲田 アスビー・ピアンカ

〒長野市稲田1-19-1 ☎026-217-1084  
P16台 図上信越道須坂長野東ICから車で約20分

**Information** 地域の皆様に安心して任せ  
ていただけるような葬儀サポートを行わせて  
いただいています。葬儀全般、返礼品について、  
お葬式後の法事などお気軽にご相談ください。  
事前相談も承っております。



「ベルホール吉池 中野会館」。社歴で優雅な雰囲気の建物は、故人を見送るのに相応しい建物をというこだわりから

### ■施設・サービス概要

葬儀会場	各1会場(中野会館最大78名、山ノ内会館最大150名、アスビー・リビング20名、アスビー・ピアンカ10名)
法要会場	各1会場(中野会館最大78名、山ノ内会館最大150名、アスビー・リビング20名、アスビー・ピアンカ10名)
遺族控室	各1室
寺院用控室	各1室
その他施設	シャワールーム、バスルーム、宿泊施設
遺体安置室	○
24時間対応	○
バリアフリー	○スロープ、身障者用トイレ、車イス
貸衣裳	○要相談
送迎サービス	○
料理手配	○
無宗教式	○お別れ会
生前予約	○セレモ会特典あり

### ■関連・加盟・指定・系列・提携ほか

●トウバババミオ(中野市) ●会員制度あり(セレモ会)



高社山がバックにそびえ、景観の良い「ベルホール吉池 山ノ内会館」。オープン以来、地域の人々に愛されている



20名前後による小さな規模の葬式に対応した「ベルハウス アスビー・リビング」



2020年7月、長野市稲田にオープンした「ベルハウス稲田 アスビー・ピアンカ」。10名前後での葬式に対応する



「アスビー・ピアンカ」の館内。祭壇とダイニングルームが隣り合い、自分の家のような雰囲気でお見送りを

**故人との最後の時間を  
大事に作ってくれる**

1925年に中野市で創業し、以来90余年に渡って地域のお葬式の手伝いをしてきた「ベルホール吉池」。中野市、山ノ内町で3つのセレモニーホールを運営し、2020年7月には新しい家族葬専門ハウスを長野市稲田にオープンさせた。

そんな同社のこだわりは「故人とその遺族が最後のお別れをゆつくりと過ごせる時間と空間を提供すること」。「葬儀の慌ただしさに流されて、きちんと故人に感謝を伝えることができなかつた」とならないように、故人の生涯を振り返り、感謝をしっかりと伝えられるように遺族をサポートしてくれる。

大型セレモニーホール2館、家族葬ハウス2館と、家族の住まいや考えによって使い分けができ、その壮麗な建築デザインは都心からの弔問客にも評価が高い。アメニティの充実など細かな心遣いにも同社の精神が溢れている。葬式後のアフターサポートについても親身に対応。